I-O DATA

HDR-ELシリーズ
取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

116143-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

お読みになる前に 3
必ずお守りください 4

はじめに **9**

箱の中には 10
動作環境 12
各部の名称・機能 13

使えるようにしよう **17**

使うモードを決めよう 18
モードを設定しよう 20
接続しよう 22
フォーマット・初期化しよう 24
基本操作について 43

運用 **47**

ミラーモードでの運用 48
シングルドライブモードでの運用 54

付録 **63**

困った時には 64
接続前の作業 73
ファイルシステムについて 78
ブザーについて 80
ASPIFORM 84
LAN-iCNと接続する 86
用語解説 88
別売オプション品 89
ハードウェア仕様 90

お問い合わせ 91
修理について 92

お読みになる前に

このたびは、「HDR-ELシリーズ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0 Operating System
Windows Me/98 SE	Windows Me, Windows 98 SEの総称
Windows	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98 SE, Windows NT 4.0の総称
Mac OS 8/9	Mac OS 8.6 ～ 9.2.2
Mac OS X	Mac OS X 10.0.3 ～ 10.1.3

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）  「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告



本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。



本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。



本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。



本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。



濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

⚠ 注意



本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

ハードディスクやMOディスクは消耗品です。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

≪使用時のみの制限≫

- ●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所



アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。



本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



本製品のコネクタ・基板部分には触れないでください

基板部分は、とがっている場合があります。誤って触れるとけがの原因となります。

また、基板部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。



本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。



本製品内部で結露させたまま使わない。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。

本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。

そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。



本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。



動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。



本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

Memo

はじめに

箱の中には ・・・・・・・・・・・・・・・１０

箱の中のものを確認します。

動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・・１２

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

各部の名称・機能 ・・・・・・・・・・・・・・・１３

スイッチなどの名前と機能を説明します。

箱の中には

箱の中には下記のものが入っています。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

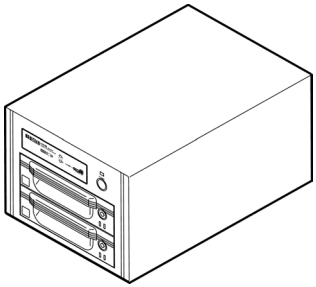
箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

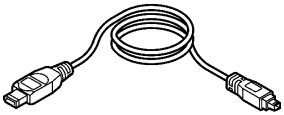
実物と若干異なる場合があります。

□ **パーソナルミラーリングハードディスク(1台)**［HDR-ELシリーズ］

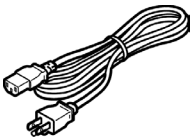


□ **IEEE 1394ケーブル(1本)**

［4ピン⇔6ピン：約1m］



□ **電源コード(1本)**



□ **鍵(2個)**



□ **HDR-ELシリーズサポートソフト(1枚)**

［ハイブリッドCD-ROM(Windows/Mac OS)］



・1394 CCサポートソフト（IEEE 1394ケーブル用ドライバ）

・ASPIFORM（Windows Me/98用フォーマッタソフト）

- ☑ **HDRシリーズ取扱説明書(本書：１冊)**
- ☐ **ハードウェア保証書(３枚)**
- ☐ **ビー・エイチ・エー社ユーザ登録ハガキ(１枚)**



鍵について

２個がリングでつながれていますが、片方は予備として保管してください。

ユーザー登録は済ませましたか？

インターネットから登録する事ができます。

アドレスはこちら　http://www.iodata.jp/regist/

Mac OSをお使いの方は･･･

「ビー・エイチ・エー社ユーザ登録ハガキ」でユーザ登録してください。
登録方法は「ビー・エイチ・エー社ユーザ登録ハガキ」に記載されています。
登録してから次のページに進みましょう！

動作環境

弊社で動作が確認されているパソコン環境を説明します。

参考

LAN-iCNと接続して使う場合

ここの動作環境は、本製品を単体で使う場合のものです。

【LAN-iCNと接続する】(86ページ)をご覧ください。

サポート機種およびサポートOS

次の条件を満たすこと

・本製品を接続できるIEEE 1394(FireWire,i.LINK)ポートがあること。
※弊社製IEEE 1394インターフェイス（GV-DVC/PCI,GV-DVC2/PCI,GV-DVC/CB,GV-DVC2/CBを除く）を装着した機種でもご利用いただけます。
※弊社では、OHCI準拠のIEEE 1394インターフェイスで動作確認しています。
・本製品を使えるようにする時にCD-ROMドライブがあること。

サポート機種	サポートOS（日本語版のみ）
NEC PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン※1※2	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98 SE
Apple Macintoshシリーズ※3	Mac OS※4 9.0 ～ 9.2.2 Mac OS X 10.0.3以降

※1　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※2　下記のSONY VAIOノートではお使いになれません。
・ご購入時にWindows 98(Second Edition除く)またはWindows 95がプリインストールされていたモデル（OSをバージョンアップしても使えません）
・PCG-F34/BP,PCG-Z505JL,PCG-Z505J/BP,PCG-Z505JX

※3　iMac DVでお使いの場合、本製品はDV取り込み・再生するために十分な転送速度が得られない場合があります。

※4　FireWire 2.2.2以降に対応です。
アップデートについては、アップルコンピュータ株式会社のホームページ（http://www.apple.co.jp/）をご覧ください。

参考

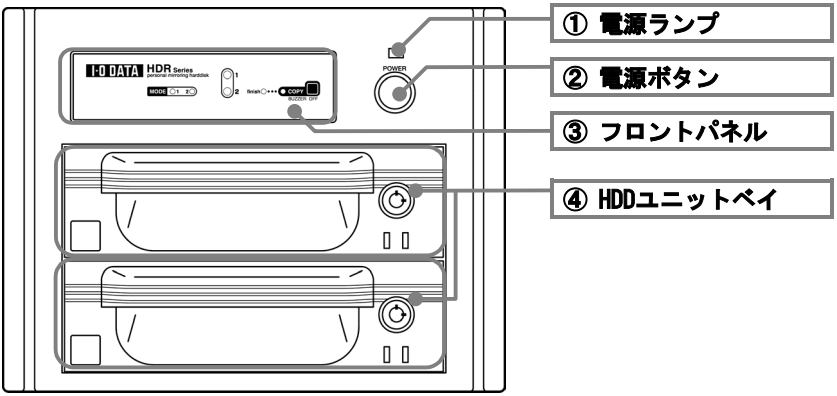
FireWireのバージョン確認方法

① [メニュー] → [コントロールパネル] → [機能拡張マネージャ] をクリックします。
② [FireWire Enabler] または [FireWire Support] のバージョンを確認します。 [J1-] や [J2-] の後の数字がバージョンです。

各部の名称・機能

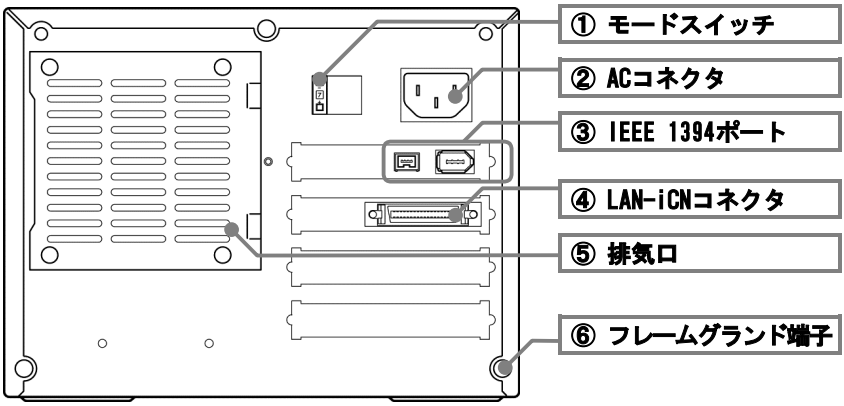
スイッチなどの名前と機能を説明します。

● 前面



名称	説明
① 電源ランプ	点灯：本製品の電源は入っています 消灯：本製品の電源は切れています
② 電源ボタン	本製品の電源を入／切します。
③ フロントパネル	【● フロントパネル】(15ページ)をご覧ください。
④ HDDユニットベイ	HDDユニットを搭載します。 上を「HDDユニットベイ１」、 下を「HDDユニットベイ２」と呼称します。 搭載されているHDDユニットも 上を「HDDユニット１」、 下を「HDDユニット２」と呼称します。 【● HDDユニットベイ】(16ページ)をご覧ください。

● 背面



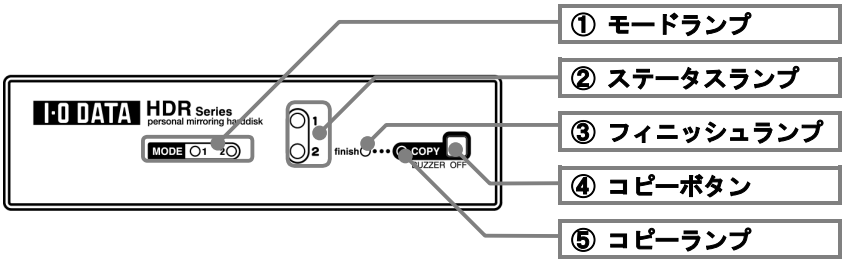
名称	説明
① モードスイッチ	動作モードを設定します。 詳細は、【モードを設定しよう】(20ページ)をご覧ください。
② ACコネクタ	添付の電源ケーブルを接続します。
③ IEEE 1394ポート	添付のIEEE 1394ケーブルを接続します。
④ LAN-iCNコネクタ	別売のLAN-iCNを接続できます。
⑤ 排気口	ファンにより、排気を行います。
⑥ フレームグランド端子	アース線を接続できます。 アース線は別途ご用意ください。

排気口について

・排気口をふさがないでください。
排気ができず、本製品の故障の原因となります。

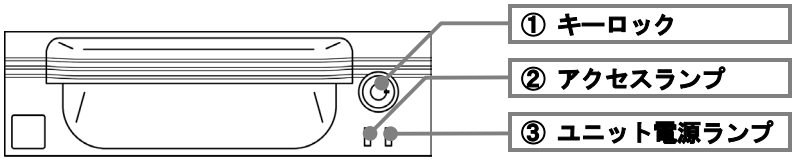
・排気口に物を入れないでください。
ファンに当たって、故障や火災などの原因となります。

● フロントパネル



名称	説明
① モードランプ	本製品のモードを示します。 ミラーモード：ランプ1 消灯／ランプ2 消灯 ミラーモード（省電力）：ランプ1 消灯／ランプ2 消灯 シングルドライブモード：ランプ1 点灯／ランプ2 消灯 シングルドライブモード（省電力）：ランプ1 点灯／ランプ2 消灯 シングルドライブモード（復旧）：ランプ1 点灯／ランプ2 点灯
② ステータスランプ	搭載しているHDDユニットの状態を示します。 点灯：正常 点滅：同期中、コピー（バックアップ）中 消灯：エラー状態
③ フィニッシュランプ	コピー機能の状態を示します。 詳細は、【運用】(47ページ)をご覧ください。
④ コピーボタン （ブザーオフボタン）	押すことにより、コピー機能を使用できます。 詳細は、【運用】(47ページ)をご覧ください。 また、エラーでブザーが鳴った時、このボタンで止められます。 詳細は、【ブザーについて】(80ページ)をご覧ください。
⑤ コピーランプ	コピー機能の状態を示します。 詳細は、【運用】(47ページ)をご覧ください。

● HDDユニットベイ



名称	説明
① キーロック	鍵を使って、HDDユニットをロック／解除します。
② アクセスランプ	搭載しているHDDユニットを読み書きすると点滅します。
③ ユニット電源ランプ	搭載しているHDDユニットに電源が入ると点灯します。

キーロックを解除したまま、電源を入れないでください

キーロックをロックしてから、本製品の電源を入れてください。
キーロックを解除したまま、HDDユニットを取り付けて本製品の電源を入れることは、故障の原因となります。

本製品の電源が入っている間は、キーロックに触れないでください

本製品の電源が入っている間にキーロックをロック／解除することは、故障の原因となります。

HDDユニットについて

新しく必要な場合は、別売オプション品をご用意ください。
詳しくは、【別売オプション品】(89ページ)をご覧ください。

使えるようにしよう

使うモードを決めよう ・・・・・・・・・・・・・・１８

本製品のモードについて説明します。

モードを設定しよう ・・・・・・・・・・・・・・２０

本製品の動作モードを設定する方法を説明します。

接続しよう ・・・・・・・・・・・・・・２２

本製品の接続について説明します。

フォーマット・初期化しよう ・・・・・・・・・・・・・・２４

本製品をフォーマットします。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・４３

本製品を使う上での操作について説明します。

使うモードを決めよう

本製品のモードについて説明します。

本製品のモードには何がある？

本製品のモードは、大きく分けて下記の２つが存在します。

・ミラーモード
・シングルドライブモード

ミラーモード

ミラーモードは、本製品に搭載されている２つのHDDユニットをミラーリングするモードです。

搭載されたHDDユニットの片方が壊れても、もう片方のHDDユニットにあるデータは安心です。



ミラーリング
【用語解説】(88ページ)をご覧ください。

シングルドライブモード

シングルドライブモードは、本製品に搭載されているHDDユニット１を通常使用し、コピーボタンを押したときにHDDユニット２にバックアップするモードです。

誤った操作でHDDユニット１のデータを消してしまっても、HDDユニット２にバックアップしておいたデータに戻すことができます。



使用例
週に１度コピーボタンを押し、バックアップ。
バックアップ後に、「HDDユニット２」を別途用意した「HDDユニット」と取り替えることで、複数のバックアップを取ることもできます。

モードの比較

２つのモードについて比較した表を掲載します。

	ミラーモード	シングルドライブモード
最新データ	両方のHDDユニットが同時に壊れない限り安全。	HDDユニット１が壊れると破損。
データ保護	ハードウェアの故障によるデータの消失を低減する。 故意、誤操作などのソフトウェア的な異常によるデータの消失を防ぐことはできない。	定期的なバックアップ操作により、ハードウェア、ソフトウェアの両面でのデータ消失を防ぐ。 データが消失した場合、最後にバックアップした場所まで戻すことができる。
ウィルス感染	感染する際は、両方のHDDユニットが同時に感染。	コピーボタンを押さない限り安全。



より安全にデータを保護するために

合わせてCD-RWドライブやMOドライブなどでバックアップを取ることをおすすめします。

特にミラーモードでは、ウィルス感染や誤操作などに備えたバックアップをおすすめします。

モードを設定しよう

本製品のモードを設定する方法を説明します。

モードについて

モードについての説明は、【使うモードを決めよう】(18ページ)をご覧ください。

モード番号

下の表をご覧になり、間違いの無いように設定します。

モード番号	モード内容
0	ミラーモード
1	ミラーモード（省電力）
2	使用しません
3	シングルドライブモード
4	シングルドライブモード（省電力）
5	シングルドライブモード（復旧）
6	使用しません
7	通常は使用しません（プログラムモード）

省電力

本製品が10分間使われなかった場合、本製品が省電力モードに入るようになります。

シングルドライブモードでは、HDDユニット２は常に省電力状態となります。（復旧を除く。）

復旧

バックアップした状態に戻すときに使用します。

このモードにしてから作業することで、HDDユニット１をバックアップしたときの状態（HDDユニット２の内容）に戻すことができます。

モードランプ

本製品は、モードランプの状態によって、モードを表示します。

詳しくは、15ページをご覧ください。

プログラムモード

本製品のファームウェアをアップデートするときなどに使います。

通常は、使用しないでください。

設定方法



本製品の電源を切ってください

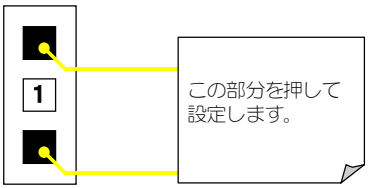
モードの設定をするときは、本製品の電源を切ってから行ってください。

「シングルドライブ」から「ミラー」へと切り替える場合

切り替えただけでは、ミラーリングが正しく行われません。
下記の手順を行ってください。

① シングルドライブモードで、【バックアップを取る】(54ページ)の作業を行う。
② 本製品の電源を切り、ミラーモードに切り替える。
※ バックアップを取った後は、ミラーモードに切り替えるまで、本製品の電源を入れないでください。

本製品は、「モードスイッチ」(14ページ)により、モード番号を設定します。



接続しよう

本製品の取り付けについて説明します。

LAN-iCNに接続する場合
これ以降の説明とは異なります。
【LAN-iCNと接続する】(86ページ)をご覧ください。

1 パソコンの電源を入れ、OSを起動します。

Windows XP/2000の場合
コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

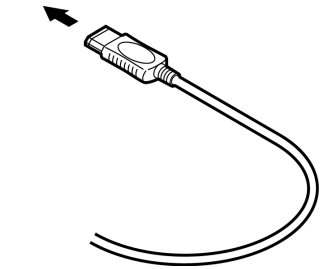
2 Windows 98とMac OS 9は、接続前に作業が必要です。

【接続前の作業】(73ページ)をご覧になり、作業を行ってください。
終わりましたら、次の手順にお進みください。

3 添付のケーブルをパソコン側のIEEE 1394ポートに接続します。

IEEE 1394ポートに合う方のコネクタをまっすぐ接続します。

例：6ピンのIEEE 1394ポート（パソコン側）に接続する場合



4 本製品を電源コンセントに接続します。

本製品のACコネクタと電源コンセントを、電源コードで接続します。

5 本製品の電源を入れます。

6 本製品のフィニッシュランプが消灯するまで待ちます。

本製品が状態チェックを行います。消灯するまでお待ちください。
（コピーランプ、フィニッシュランプ点滅）

ブザーが鳴ります

ピーピーと長く鳴る：本製品の構成に変更があります。
【ブザーについて】(80ページ)をご覧ください。
ピピピッと短く鳴る：本製品は、正常に動作することができます。

コピーランプとフィニッシュランプの点滅中はご注意ください

この間にコピーボタンを押し続けると、電源を入れるときからコピーボタンを押し続けた状態と同じになります。ご注意ください。

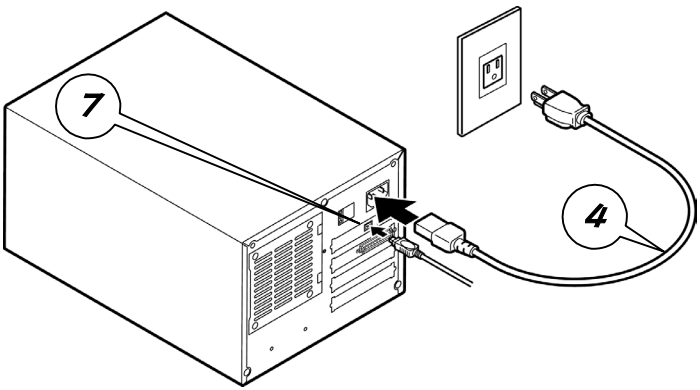
本製品に電源を入れてすぐには認識されません

電源を入れると、コピーランプとフィニッシュランプが点滅します。
それが終わり、コピーランプとフィニッシュランプが消灯すると、本製品はIEEE 1394機器としてお使いいただけます。

7 本製品にケーブルを接続します。

IEEE 1394ケーブルの残ったコネクタを本製品のIEEE 1394ポートに接続します。

例：6ピンのIEEE 1394ポート（パソコン側）に接続する場合



以上で、接続は終了です。
【フォーマット・初期化しよう】(次ページ)へお進みください。

フォーマット・初期化しよう

フォーマット・初期化手順は、お使いのOSによって異なります。
下表をご覧になり、それぞれにあったページをご覧ください。



フォーマット・初期化する前に

フォーマット・初期化すると、本製品に入っているデータはすべて消えてしまいます。
本製品に必要なデータがある場合は、そのデータを他の場所に保存してからフォーマット・初期化してください。

お使いのOS	作業	
Windows XP/2000	【Windows XP/2000でのフォーマット】	次ページ
Windows Me/98 SE	【Windows Me/98 SEでのフォーマット】	34ページ
Mac OS X	【Mac OS Xでの初期化】	39ページ
Mac OS 9	【Mac OS 9での初期化】	41ページ

Windows XP/2000でのフォーマット

参考

コンピュータの管理者（Administrator）でログオンしてください

Windows XP/2000でハードディスクをフォーマットする場合は、コンピュータの管理者（Administrator）グループに属するユーザーでログオンする必要があります。

Windows Me/98 SEと併用する場合は･･･

Windows Me/98 SEで本製品のフォーマットを行ってください。
Windows XP/2000でフォーマットするとWindows Me/98 SEで認識されない場合があります。詳細は、【ファイルシステムについて】(78ページ)を参照してください。

本製品は「ダイナミックディスク」として使えません

本製品は、ディスクのアップグレードをできません。
ダイナミックディスクについての詳細は、Windows XP/2000の取扱説明書かオンラインヘルプをご覧ください。

画面例はWindows XPのものです

画面上に表示される文字やウィンドウの形などが多少異なりますが、特に記載がない限りWindows 2000でも同じ操作で作業を行います。

1 「コントロールパネル」を起動します。

Windows XPの場合

［スタート］→［コントロールパネル］の順にクリックします。
⇒［コントロールパネル］が起動されます。

Windows 2000の場合

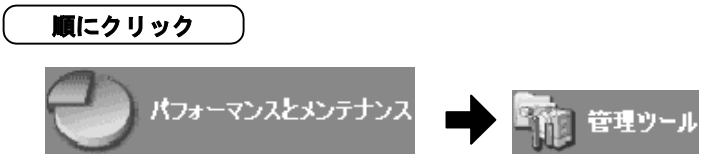
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。
⇒［コントロールパネル］が起動されます。

2 「管理ツール」を起動します。

Windows XPの場合

［パフォーマンスとメンテナンス］→［管理ツール］の順にクリックします。

⇒［管理ツール］が起動されます。



Windows 2000の場合

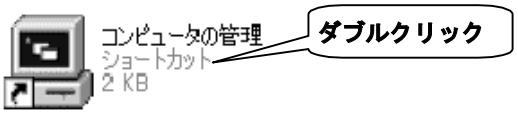
［管理ツール］アイコンをダブルクリックします。

⇒［管理ツール］が起動されます。



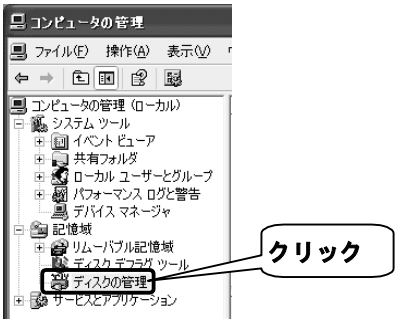
3 ［コンピュータの管理］をダブルクリックします。

⇒［コンピュータの管理］が起動されます。



4 ［ディスクの管理］をクリックします。

⇒「ディスクの初期化と変換ウィザード」が表示されます。



注意

「ディスクの初期化と変換（ディスクのアップグレードと署名）ウィザード」が表示されない

- Windows XP Home Editionでお使いの場合は、下の「Windows XP Home Editionでお使いの場合」をご覧ください。
- ハードディスクが正しく接続されていません。
- 表示されない設定になっています。
  ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示された［ディスクの初期化（署名）］をクリックしてください。
- ハードディスクは初期化されています。
  手順8 (29ページ)へお進みください。

Windows XP Home Editionでお使いの場合

「ディスクの初期化と変換ウィザード」は表示されません。下記の手順を行ってください。

①「初期化されていません」と表示されているディスクを右クリックし、表示された［ディスクの初期化］をクリックします。

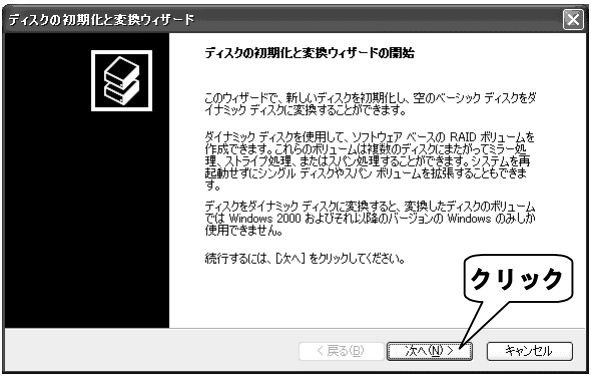


②［OK］ボタンをクリックします。

⇒初期化されました。手順8 (29ページ)へお進みください。



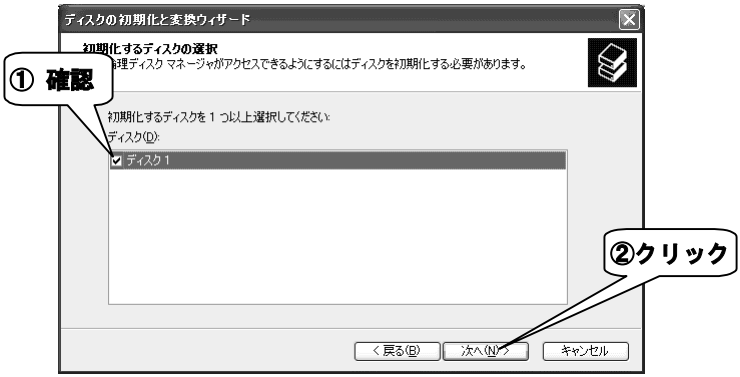
5 ［次へ］ボタンをクリックします。



6 ［次へ］ボタンをクリックします。

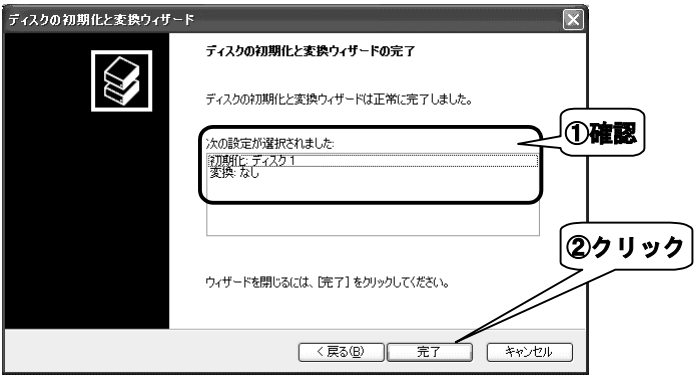
① 初期化（署名）するディスクにチェックがついていることを確認します。

② ［次へ］ボタンをクリックします。



7 設定を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

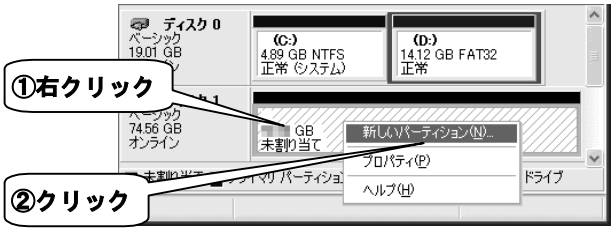
設定が正しいことを確認し、［完了］ボタンをクリックします。
⇒初期化（署名）が行われます。



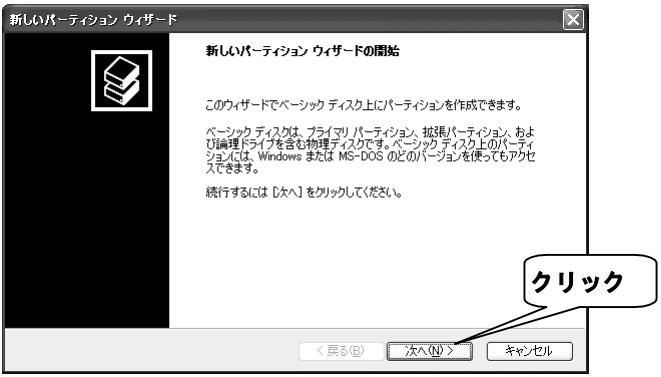
8 「新しいパーティションウィザード」を起動します。

① フォーマットしたいハードディスクの未割り当ての領域を右クリックします。

② 表示された［新しいパーティション（パーティションの作成）］をクリックします。
⇒「新しいパーティション（パーティションの作成）ウィザード」が起動します。



9 ［次へ］ボタンをクリックします。



10 ［次へ］ボタンをクリックします。

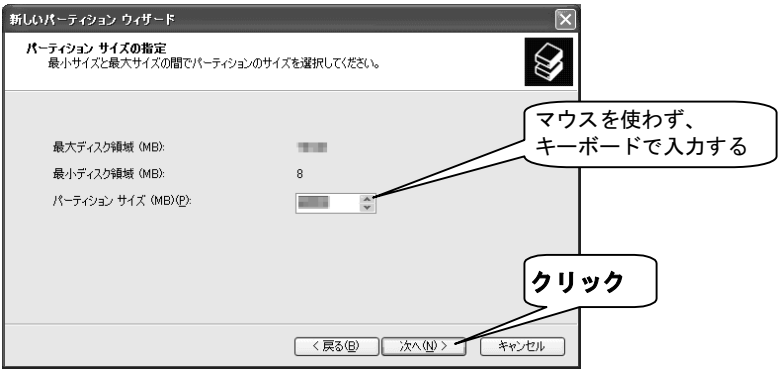


参考

拡張パーティションについて

ここでは、［拡張パーティション］を選ぶこともできます。
ハードディスクを５つ以上に分割したい場合は、「拡張パーティション」を作成する必要があります。
詳細は、Windows XP/2000の取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。

11 ［次へ］ボタンをクリックします。



パーティションサイズについて

ここでは、最大値のままの設定にされています。
ハードディスクを分割したい場合は、［パーティションサイズ］を［最大ディスク領域］より小さくする必要があります。
詳細は、Windows XP/2000の取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。
※ サイズを変更するときは、マウスで変更せず、キーボードで値を入力してください。

12 ［次へ］ボタンをクリックします。

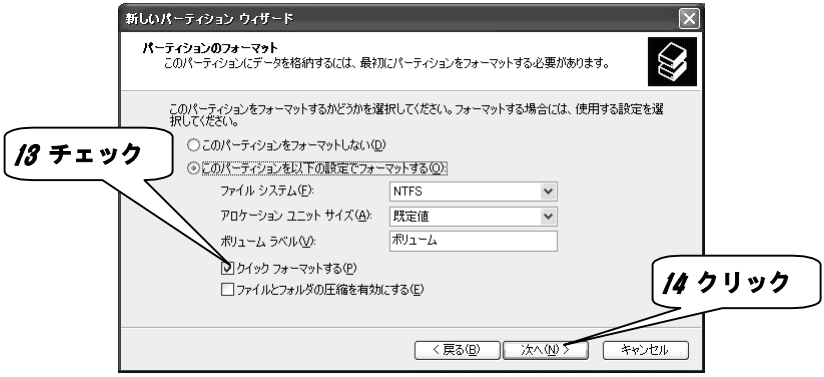


ドライブ文字について

ここで割り当てたドライブ文字が、作成するドライブのドライブ文字になります。

13 ［クイックフォーマットする］をチェックします。

14 ［次へ］ボタンをクリックします。



参考

ファイルシステムについて

ハードディスクをWindows XP/2000のみで使う場合は、［NTFS］のままにしてください。

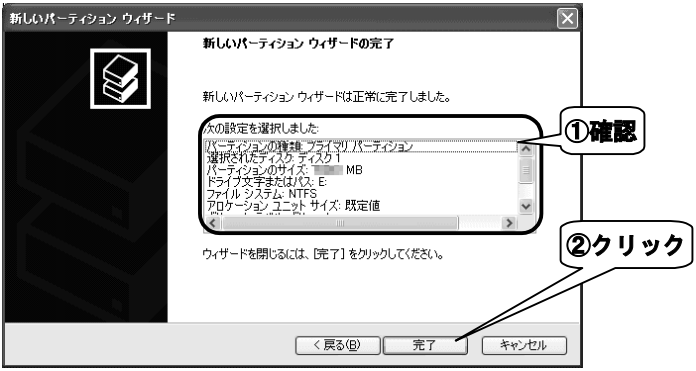
他のOSでも使う場合は、使うOSにも対応したファイルシステムをお使いください。

詳しくは、【ファイルシステムについて】(78ページ)をご覧ください。

15 設定を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

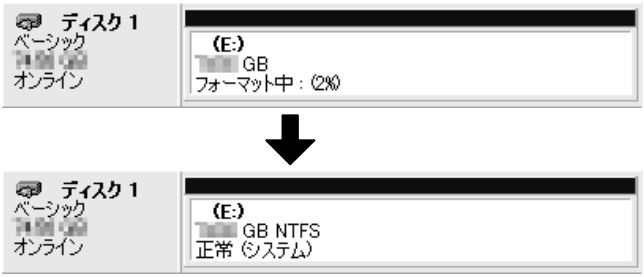
設定が正しいことを確認し、［完了］ボタンをクリックします。

⇒パーティションの作成とフォーマットが行われます。



16 フォーマットされます。

［フォーマット中］が［正常］になるまでお待ちください。



17 ［コンピュータの管理］を閉じます。

☒ ボタンをクリックします。

18 本製品のアイコンを確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

②［マイコンピュータ］の中にハードディスクのアイコンが増えている
ことを確認します。

⇒これが本製品のアイコンです。



注意

ハードディスクのアイコンが増えていない

【本製品をIEEE 1394ポートに接続しても認識しない】(65ページ)をご覧ください。

参考

本製品のアイコンの見分け方

フォーマットした後のため、本製品にはデータが何も入っていません。
ダブルクリックで開いたとき、中にファイルなどが入っていないアイコンが本製品のアイコンです。

作成したパーティションの次回からのフォーマットについて

アイコンを右クリックし、表示された［フォーマット］をクリックします。

以上で本製品はフォーマットされました。
そのまま本製品を使えます。

あとは、43ページで本製品の基本操作をご確認ください。

Windows Me/98 SEでのフォーマット

下で説明するASPIFORMを使ってください
「マイコンピュータ」内のアイコンを右クリックして行うフォーマットおよびFDISK、FORMATコマンドでは、正常にフォーマットできません。
ASPIFORMについては、【ASPIFORM】(84ページ)をご覧ください。

本製品以外の外付ハードディスクを、できるだけ取り外してください
誤ってフォーマットしてしまわないために、できるだけ取り外してください。

ASPIFORMは、マウスでの操作はできません
矢印キー（[↓][↑][→][←]キー）にて選択（カーソル移動）してください。

1 「HDR-ELシリーズサポートソフト」を挿入します。

「HDR-ELシリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

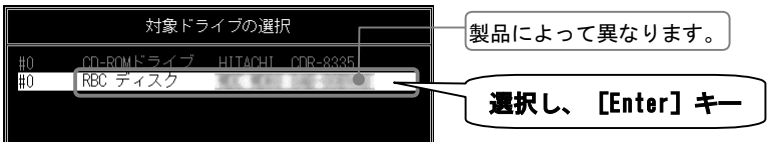
2 ASPIFORMを起動します。

［マイコンピュータ］→［HDR_EL_xxx］→［HDD］→［ASPIFORM］の順にダブルクリックします。
⇒ASPIFORMが起動されます。
※ xxxには数字（バージョン）が入ります。

順にダブルクリック



3 本製品を選択し、［Enter］キーを押します。



「対象ドライブが見つかりません」と表示された、または、本製品が表示されない
【本製品をIEEE 1394ポートに接続しても認識しない】(65ページ)をご覧ください。

参考

本製品がどれか分からない場合は・・・

【本製品の電源を切る】(44ページ)を参照し、手順*2*で表示される名前を参考にしてください。

他の外付ハードディスクも表示されます

それらを誤ってフォーマットしないようにご注意ください。

内蔵CD-ROMドライブなどが表示されることがあります

ただし、選択することはできません。

4 「(F) FDISKフォーマット」を選択します。

「(F) FDISKフォーマット」を選択し、［Enter］キーを押します。



参考

各項目の詳細について

詳しくは、【ASPIFORMの処理内容について】(85ページ)を参照してください。

5 「(C)パーティションの作成」を選択します。

「(C)パーティションの作成」を選択し、［Enter］キーを押します。

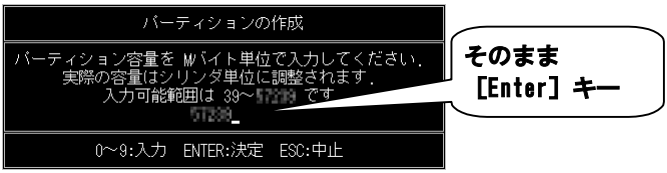


注意

「使用領域が不足しています」と表示された

【ASPIFORMで「使用可能領域が不足しています」と表示される】(69ページ)をご覧ください。

6 ［Enter］キーを押します。

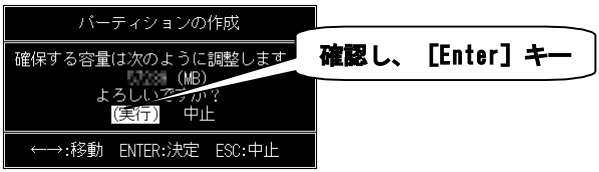


パーティション容量について

そのまま［Enter］キーを押すと、最大値で設定されます。
ハードディスクを分割したい場合は、［BackSpace］キーで表示されている容量を削除した後、最大容量より小さい数値を入力する必要があります。

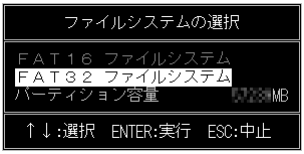
7 容量を確認し、「実行」を選択します。

容量を確認し、「実行」を選択して、［Enter］キーを押します。



8 ［Enter］キーを押します。

⇒「FAT32ファイルシステム」が選択され、フォーマットが開始されます。

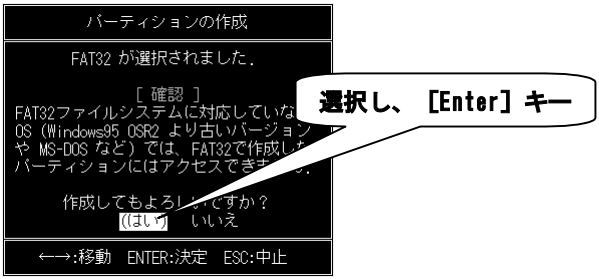


ファイルシステムについて

手順**6**で指定した容量によっては、［FAT16ファイルシステム］を選択可能となる場合があります。
本製品を他のOSと併用したい場合に［FAT32ファイルシステム］を選択すると、OSによっては、併用できなくなります。
詳しくは、【ファイルシステムについて】(78ページ)を参照してください。

9 通常、以下が表示されます。

画面上のメッセージを確認し、作成しても良いなら「はい」を選択し、［Enter］キーを押します。



10 下のように表示されたら、［Enter］キーを押します。



11 ［Esc］キーを「４回」押し、ASPIFORMを終了します。

参考

ASPIFORMが閉じない場合

×ボタンをクリックします。

12 「HDR-ELシリーズサポートソフト」を取り出します。

13 パソコンを再起動してください。

14 本製品のアイコンを確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

②［マイコンピュータ］の中にハードディスクのアイコンが増えていることを確認します。

⇒これが本製品のアイコンです。



注意

ハードディスクのアイコンが増えていない

【本製品をIEEE 1394ポートに接続しても認識しない】(65ページ)をご覧ください。

参考

本製品のアイコンの見分け方

フォーマットした後のため、本製品にはデータが何も入っていません。
ダブルクリックで開いたとき、中にファイルなどが入っていないアイコンが本製品のアイコンです。

作成したパーティションの次回からのフォーマットについて

アイコンを右クリックし、表示された［フォーマット］をクリックします。

以上で本製品はフォーマットされました。
そのまま本製品を使えます。

あとは、43ページで本製品の基本操作をご確認ください。

Mac OS Xでの初期化

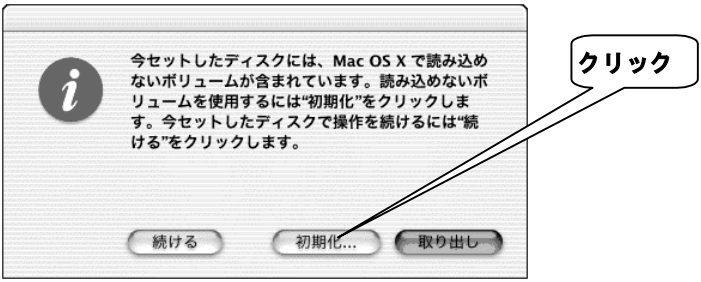
1 本製品以外のFireWireストレージを全て取り外します。

参考

「ストレージ」とは？
ハードディスク、MOドライブなどの記憶装置のこと。

2 画面が表示されたら、［初期化］ボタンをクリックします。

⇒［Disk Utility］が起動します。



参考

上の画面が表示されない場合
① 起動ボリュームのアイコンをダブルクリックします。
② ［アプリケーション］ボタンをクリックします。
⇒「Applications」が開きます。
③ ［Utilities］フォルダを開きます。
④ ［Disk Utility］アイコンをダブルクリックします。

3 ［Drive Setup］ボタンがある場合は、クリックします。

⇒［Disk Utility］が起動します。

4 本製品を選択します。

参考

本製品を見分ける方法
本製品を選択したとき、右の［情報］タブに下記のように表示されます。
ディスクの説明： I-O DATA DEVICE INC.
接続バス： FireWire

5 ［パーティション］タブをクリックします。

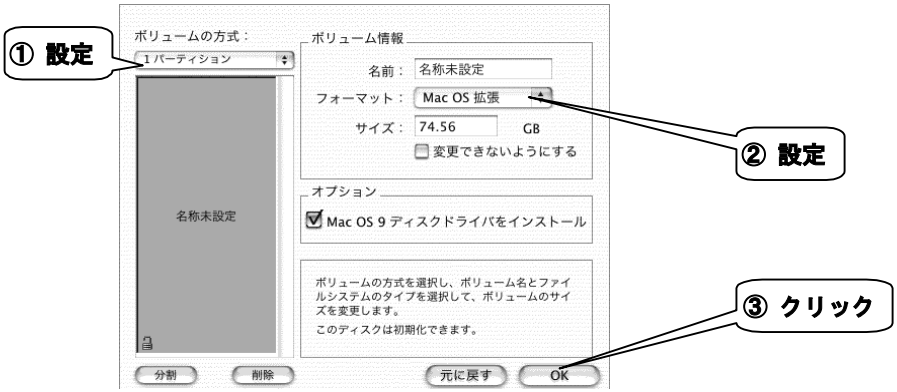
6 本製品を初期化します。

① ［ボリューム（パーティション）の方式］を［1パーティション］に設定します。

② ［フォーマット］を［Mac OS拡張］に設定します。

③ ［OK］ボタンをクリックします。

Mac OS X 10.1.2の場合



注意

［UNIXファイルシステム］には設定しないでください

UNIXファイルシステムには対応しておりません。

参考

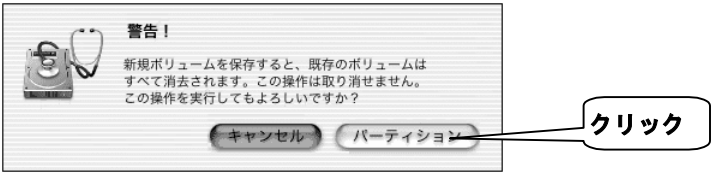
パーティションを分けたい場合は

［ボリュームの方式］で、パーティション数を設定します。

あとは、［分割］［削除］ボタンや［サイズ］を変更して、調整します。

7 ［パーティション］ボタンをクリックします。

⇒初期化が始まります。



以上で本製品を初期化できました。
そのまま本製品を使えます。

あとは、43ページで本製品の基本操作をご確認ください。

Mac OS 9での初期化

参考

「B'sCrew FW」について詳しくは

「HDR-ELシリーズサポートソフト」の［1394CC］→［ユーザーズマニュアル］→［B'sCrew FW User's Manual.pdf］をご覧ください。

※表示できない場合は、「Adobe Acrobat Reader」を入れてください。

1 本製品以外のFireWireストレージを全て取り外します。

参考

「ストレージ」とは？

ハードディスク、MOドライブなどの記憶装置のこと。

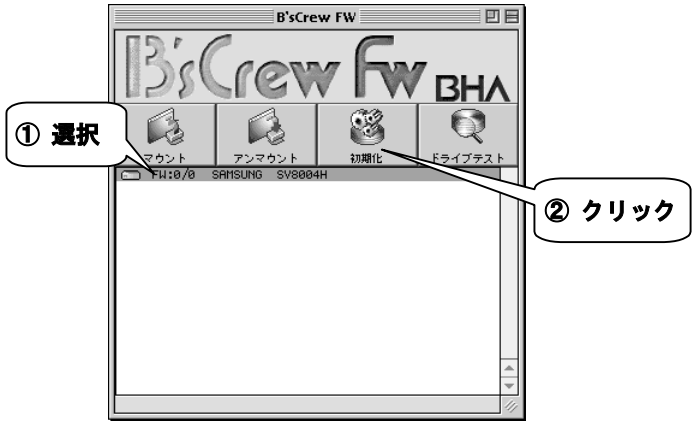
2 「B'sCrew FW」を起動します。

メニューの中の［B'sCrew FW］をクリックします。

3 ドライブを選択し、［初期化］ボタンをクリックします。

① ドライブが1つだけ表示されているので、それを選択します。

② ［初期化］ボタンをクリックします。



4 ［イニシャライズ］の設定をします。

［パーティション数］と［パーティションタイプ］を決めます。

参考

［パーティションタイプ］の選択について

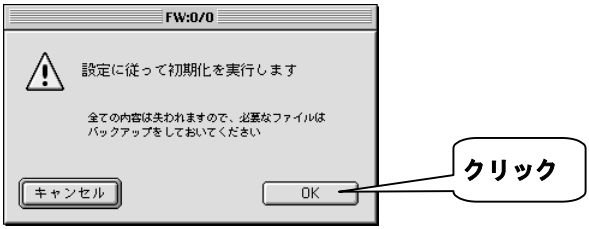
［Mac OS拡張］を選択することをおすすめします。

また、［MSDOS形式（FAT）］は選ばないでください。

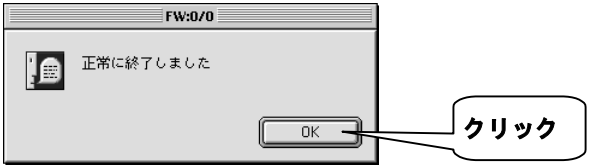
5 [OK] ボタンをクリックします。



6 [OK] ボタンをクリックします。



7 [OK] ボタンをクリックします。



以上で本製品を初期化できました。
そのまま本製品を使えます。

あとは、次ページで本製品の基本操作をご確認ください。

基本操作について

本製品の基本操作について説明します。

操作	
本製品の電源を入れる	本ページ
本製品の電源を切る	次ページ
本製品を接続する	46ページ
本製品を取り外す	

本製品の電源を入れる

1 本製品の電源を入れます。

本製品の電源ボタンを押します。

⇒本製品の電源ランプが点灯します。

2 本製品のフィニッシュランプが消灯するまで待ちます。

本製品が状態チェックを行います。

（コピーランプ、フィニッシュランプ点滅）

消灯するまでお待ちください。

消灯したら、後はIEEE 1394ポートに接続してください。



ブザーが鳴ります

ピーピーと長く鳴る：本製品の構成に変更があります。

【ブザーについて】(80ページ)をご覧ください。

ピピピッと短く鳴る：本製品は、正常に動作することができます。

コピーランプとフィニッシュランプの点滅中はご注意ください

この間にコピーボタンを押し続けると、電源を入れるときからコピーボタンを押し続けた状態と同じになります。ご注意ください。



本製品に電源を入れてすぐには認識されません

電源を入れると、コピーランプとフィニッシュランプが点滅します。

それが終わり、コピーランプとフィニッシュランプが消灯すると、本製品はIEEE 1394機器としてお使いいただけます。

本製品の電源を切る

●Windowsの場合

参考

パソコンの電源を切った場合
手順**5**からご覧ください。

1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

2 本製品の表示をクリックします。

複数の取り外し可能な機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。

注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
①使っているソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。
※同じメッセージが表示されたら、OSを終了し、パソコンの電源を切ってから手順**5**にお進みください。

3 メッセージを確認します。

4 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

5 本製品のステータスランプを確認します。

ステータスランプが点滅している場合、まだ本製品の電源を切らないでください。

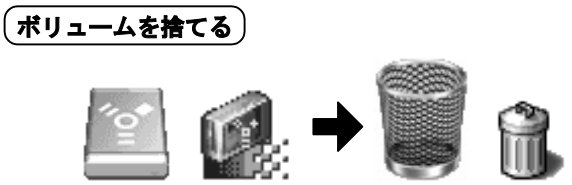
6 本製品の電源を切ります。

本製品の電源ボタンを押します。
⇒本製品の電源ランプが消灯します。

●Mac OSの場合

1 本製品内のボリュームをゴミ箱に捨てます。

ボリュームをゴミ箱の上に持っていき、放します。
⇒本製品内にある全てのボリュームの表示が消えます。



2 本製品をIEEE 1394ポートから取り外します。

3 本製品のステータスランプを確認します。

ステータスランプが点滅している場合、まだ本製品の電源を切らないでください。

4 本製品の電源を切ります。

本製品の電源ボタンを押します。
⇒本製品の電源ランプが消灯します。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

操作は、【本製品の電源を入れる】(43ページ)をご覧ください。

2 本製品をIEEE 1394ポートに接続します。

本製品を取り外す

● 本製品の電源を切ります。

操作は、【本製品の電源を切る】(44ページ)をご覧ください。

運用

ミラーモードでの運用 ・・・・・・・・・・・・・・・ 48

ミラーモードで、本製品を使う上での操作について説明します。

シングルドライブモードでの運用 ・・・・・・・・・・・・・・・ 54

シングルドライブモードで、本製品を使う上での操作について説明します。

ミラーモードでの運用

ミラーモードで、本製品を使う上での操作について説明します。

新しいHDDユニットに取り替える

HDDユニットが壊れたときは、HDDユニットを取り替える必要があります。

参考

HDDユニットが壊れた場合

ブザーがピーピーと長く鳴り、故障を知らせます。

詳しくは、【ブザーについて】(80ページ)をご覧ください。

新しいHDDユニット

別売オプション品をご用意ください。

詳しくは、【別売オプション品】(89ページ)をご覧ください。

1 パソコンと本製品の電源を切ります。

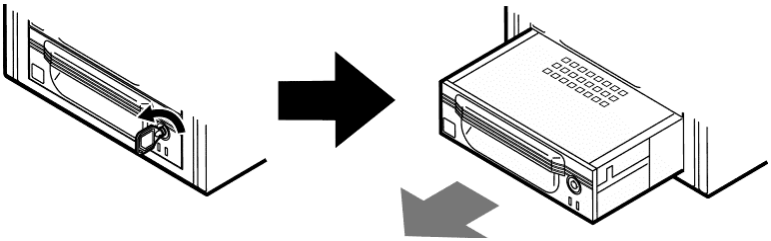
【基本操作について】(43ページ)をご覧ください。

2 本製品に接続されている全てのケーブルを取り外します。

3 HDDユニットを取り外します。

①鍵で、取り外すHDDユニットのキーロックを解除します。

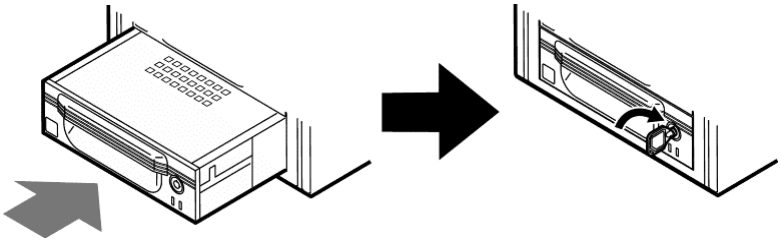
②HDDユニットを引き抜きます。



4 HDDユニットを取り付けます。

①用意したHDDユニットを押し込みます。

②鍵で、HDDユニットのキーロックをロックします。



5 本製品に接続されていたケーブルを戻します。

新しいHDDユニットには「同期」が必要です

同期は、この後の手順で行われます。

詳しくは、【用語解説】(88ページ)をご覧ください。

本製品を安全に早く同期する方法

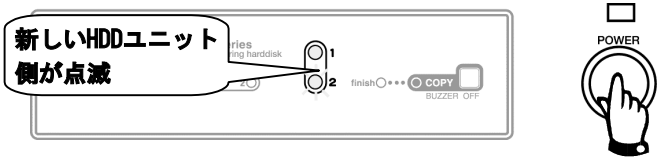
この方法では、本製品をハードディスクとして使えません。

その代わり、ここで説明されている方法より早く作業が終わるため、データの安全性は高くなります。

詳しくは、【安全・高速に同期する】(51ページ)をご覧ください。

6 本製品の電源を入れます。

⇒しばらくすると、ブザーが鳴ります。

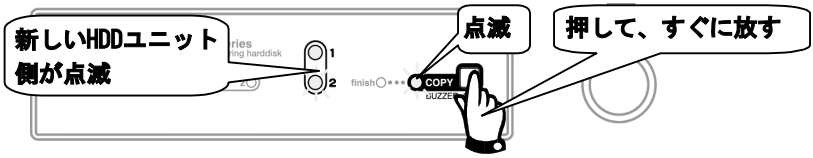


7 コピーボタンを押し、すぐに放します。

⇒ブザーが鳴り止みます。

しばらくすると、自動的に同期が始まります。

同期中は、新しいHDDユニットのステータスランプとコピーランプが点滅します。



同期には時間がかかります

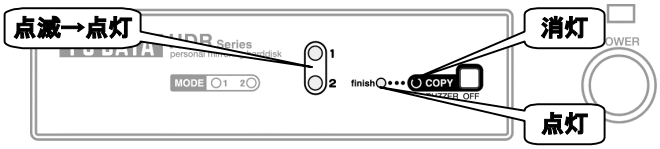
自動同期では、40Gバイトあたり約35分かかります。（パソコンからのアクセスがない場合）

8 同期の終了を確認します。

下記の状態になれば、同期は終了です。

ステータスランプ：点滅→点灯

コピーランプ：消灯　　フィニッシュランプ：点灯



同期が終わるまで本製品の電源を切らないでください

本製品を使い終わっても、ステータスランプがまだ点滅している間は本製品の電源を切らないでください。

※ パソコンの電源は切っても問題ありません。

安全・高速に同期する

安全・高速に同期させたい場合は、この作業を行ってください。

本作業は、HDDユニットの取り替えの後で行います

【新しいHDDユニットに取り替える】の手順 ***1～5*** (48～49ページ)までをご覧になり、HDDユニットを取り替えてから本作業を行ってください。

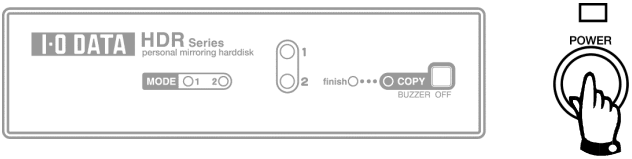
この作業中は、ハードディスクとして使えません

作業中には、本製品をパソコンやLAN-iCNに接続しないことをおすすめします。

※ LAN-iCNに接続した状態で、誤ってLAN-iCNの電源を入れてしまった場合、LAN-iCNのPOWERボタンを押しても再起動できません。
LAN-iCNのACアダプタを、コンセントから抜き差しして再起動してください。

1 本製品の電源を入れます。

⇒しばらくすると、ブザーが鳴ります。

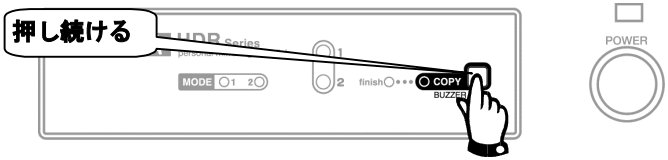


新しいHDDユニットのステータスランプが点滅します

本製品が新しいHDDユニットを認識した場合、ブザーが鳴り、そのHDDユニットに対応したステータスランプが点滅します。

2 コピーボタンを押し続けます。

⇒ブザーが鳴り止みます。

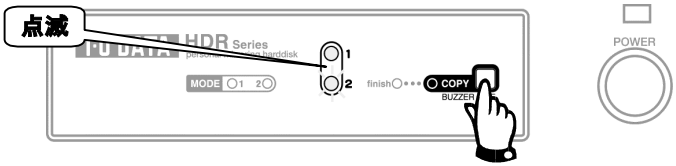


コピーボタンは押し続けてください

本書でコピーボタンを放すという指示があるまで、押し続けてください。
コピーボタンを放すと、コピー機能による同期作業は行われません。
⇒【新しいHDDユニットに取り替える】の手順 ***7*** (前ページ)以降で記載されている同期が始まります。

3 同期するHDDユニットを確認します。

同期するHDDユニット（コピー先）のステータスランプが5秒間点滅します。



新しいHDDユニットと違うステータスランプが点滅した場合

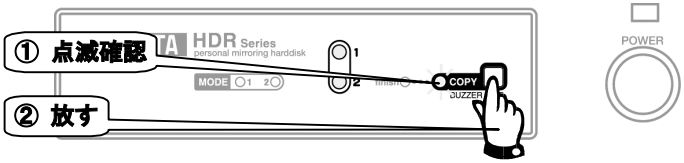
コピーボタンを押したままで、電源ボタンを押して、本製品の電源を切ってください。

その後、下記の作業を行ってください。

① 新しいHDDユニットを取り外します。
② 本製品の電源を入れます。
③ ブザーが鳴ったら、コピーボタンを押します。
④ 本製品の電源を切ります。
⑤ 新しいHDDユニットを再び取り付けます。
⑥ 本作業をもう一度行ってください。

4 コピーランプが点滅したら、コピーボタンを放します。

⇒同期が始まります。



同期には時間がかかります

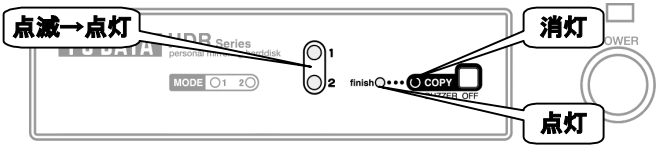
コピー機能での同期は、40Gバイトあたり約30分かかります。

5 同期の終了を確認します。

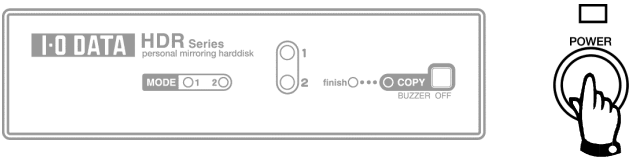
下記の状態になれば、同期は終了です。

ステータスランプ：点滅→点灯

コピーランプ：消灯　　フィニッシュランプ：点灯



6 本製品の電源を切ります。



シングルドライブモードでの運用

シングルドライブモードで、本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
バックアップを取る	本ページ
新しいHDDユニットに取り替える	58ページ
バックアップの状態に戻す	60ページ

バックアップを取る

シングルドライブモードでは、コピーボタンを押すことで、HDDユニット２にバックアップを取ることができます。

●本製品を使用中にバックアップする

本製品を使用中にバックアップしたい場合は、この作業を行ってください。

参考

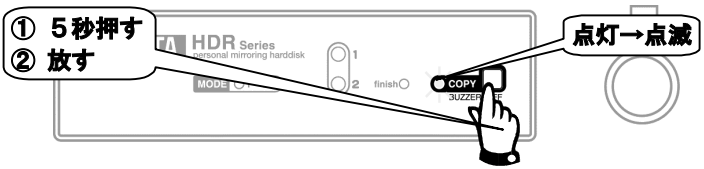
この作業は本製品を使用中であることが前提です

本製品をハードディスクとして使えるようになってから作業を始めてください。

1 コピーボタンを５秒押し、放します。

コピーランプが点灯し、点滅に変わるまで押し続けます。

⇒コピーボタンを放すと、HDDユニット２へのバックアップ（コピー）が始まります。



注意

バックアップには時間がかかります

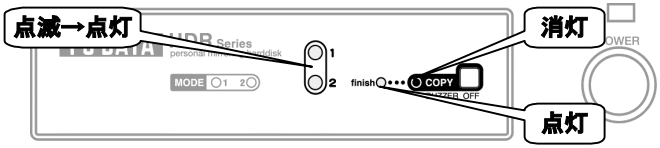
本製品を使いながらのバックアップは、40Gバイトあたり約35分かかります。（パソコンからのアクセスがない場合）

2 バックアップの終了を確認します。

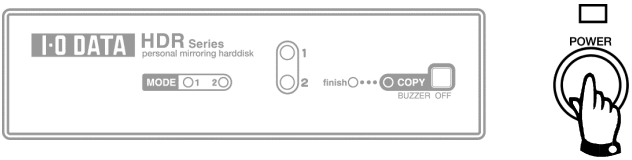
下記の状態になれば、バックアップは終了です。

ステータスランプ：点滅→点灯

コピーランプ：消灯　　フィニッシュランプ：点灯



3 本製品の電源を切ります。



必ず電源を切ってください

完全なバックアップを行うため、本製品の電源を切るまでHDDユニット１とHDDユニット２は「ミラーリング」されます。

そのため、バックアップ作業を終わらせるには、本製品の電源を一度切る必要があります。

ミラーリング

【用語解説】(88ページ)をご覧ください。

●安全・高速にバックアップする

安全・高速にバックアップしたい場合は、この作業を行ってください。

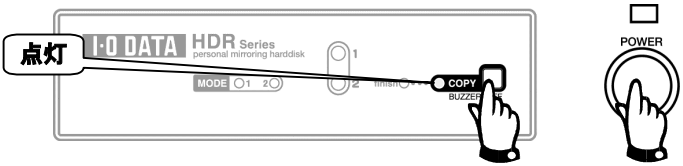
この作業中は、ハードディスクとして使えません

作業中には、本製品をパソコンやLAN-iCNに接続しないことをおすすめします。

※ LAN-iCNに接続した状態で、誤ってLAN-iCNの電源を入れてしまった場合、LAN-iCNのPOWERボタンを押しても再起動できません。
LAN-iCNのACアダプタを、コンセントから抜き差しして再起動してください。

1 コピーボタンを押しながら、本製品の電源を入れます。

⇒本製品がコピー機能を行うために起動します。
コピーランプが点灯します。

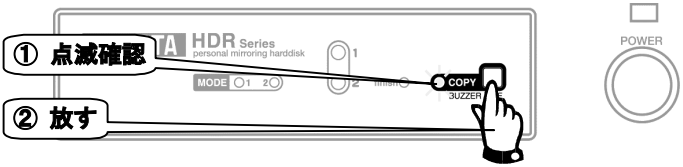


コピーボタンは押し続けてください

本書でコピーボタンを放すという指示があるまで、押し続けてください。
コピーボタンを放すと、コピー機能によるバックアップ作業は行えません。
⇒通常通り起動します。電源を切り、作業をやり直してください。

2 コピーランプが点滅したら、コピーボタンを放します。

⇒バックアップが始まります。



バックアップには時間がかかります

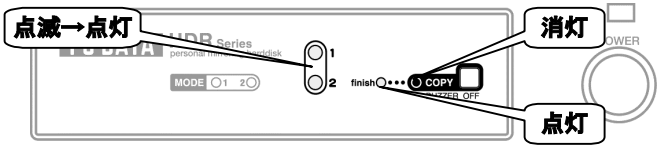
コピー機能でのバックアップは、40Gバイトあたり約30分かかります。

3 バックアップの終了を確認します。

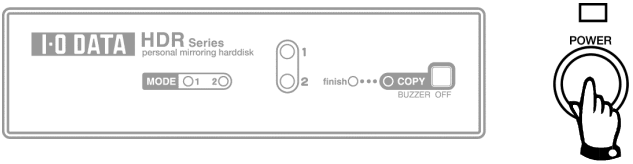
下記の状態になれば、バックアップは終了です。

ステータスランプ：点滅→点灯

コピーランプ：消灯　　フィニッシュランプ：点灯



4 本製品の電源を切ります。



新しいHDDユニットに取り替える

複数バックアップを取りたいときや、HDDユニットが壊れたときなど、HDDユニットを取り替える必要があります。

参考

HDDユニットが壊れた場合

ブザーがピーピーと長く鳴り、故障を知らせます。
詳しくは、【ブザーについて】(80ページ)をご覧ください。

新しいHDDユニット

別売オプション品をご用意ください。
詳しくは、【別売オプション品】(89ページ)をご覧ください。

複数バックアップを取る

バックアップを取ったHDDユニット２を取り外して、新しいものに取り替えることで、複数のバックアップを取ることができます。

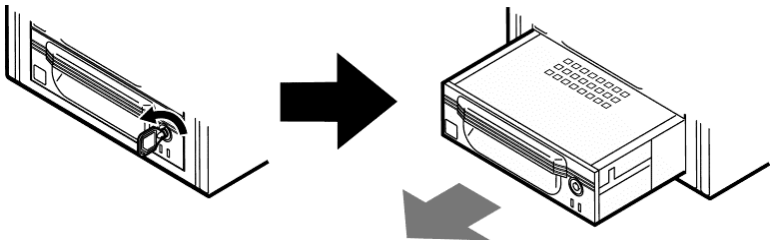
1 パソコンと本製品の電源を切ります。

【基本操作について】(43ページ)をご覧ください。

2 本製品に接続されている全てのケーブルを取り外します。

3 HDDユニットを取り外します。

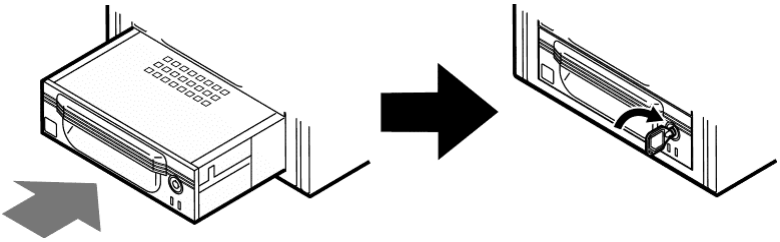
①鍵で、取り外すHDDユニットのキーロックを解除します。
②HDDユニットを引き抜きます。



4 HDDユニットを取り付けます。

①用意したHDDユニットを押し込みます。

②鍵で、取り外すHDDユニットのキーロックをロックします。



5 本製品に接続されていたケーブルを戻します。

6 HDDユニット１を取り替えた場合、作業が必要です。

HDDユニット１をバックアップの状態に戻す必要があります。

バックアップの状態に戻す方法については、次ページをご覧ください。

参考

始めに電源を入れたときは、ブザーが鳴ります。

HDDユニット１を取り替えた場合は、次ページの案内に従ってください。

HDDユニット２を取り替えた場合は、コピーボタンを押し、ブザーを止めてください。

バックアップの状態に戻す

バックアップの内容に戻したい場合の作業方法です。

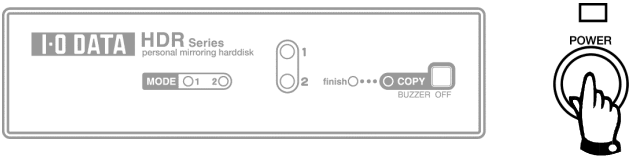
この作業中は、ハードディスクとして使えません

作業中には、本製品をパソコンやLAN-iCNに接続しないことをおすすめします。

※ LAN-iCNに接続した状態で、誤ってLAN-iCNの電源を入れてしまった場合、LAN-iCNのPOWERボタンを押しても再起動できません。
LAN-iCNのACアダプタを、コンセントから抜き差しして再起動してください。

1 パソコンと本製品の電源を切ります。

【基本操作について】(43ページ)をご覧ください。

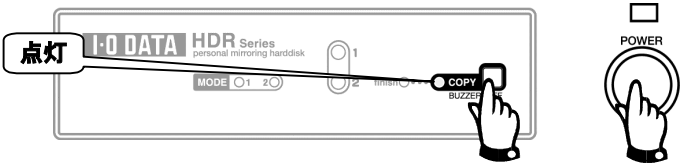


2 モードを「シングルドライブモード（復旧）」にします。

【モードを設定しよう】(20ページ)をご覧ください。

3 コピーボタンを押しながら、本製品の電源を入れます。

⇒バックアップした内容に戻す作業を行うために起動します。
コピーランプが点灯します。



コピーボタンは押し続けてください。

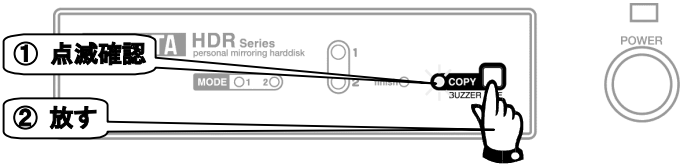
本書でコピーボタンを放すという指示があるまで、押し続けてください。
コピーボタンを放すと、バックアップした内容に戻せません。
⇒通常通り起動します。電源を切り、作業をやり直してください。

新しいHDDユニットに取り替えた場合

新しいHDDユニットのステータスランプが点滅し、ブザーが鳴ります。
その場合は、コピーボタンを一度放し、それから押し続けてください。
そうでない場合は、【ブザーについて】(80ページ)をご覧ください。

4 コピーランプが点滅したら、コピーボタンを放します。

⇒バックアップした内容に戻す作業が始まります。



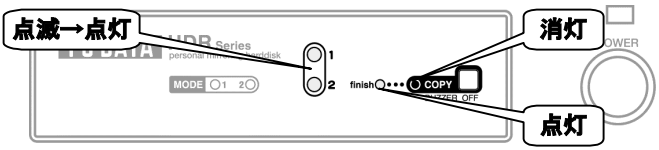
バックアップした内容へ戻す作業は時間がかかります

この作業は、40Gバイトあたり約30分かかります。

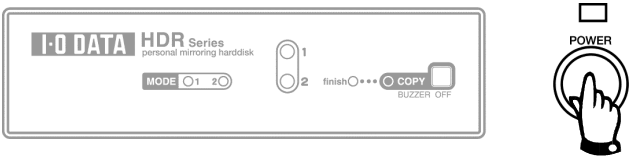
5 コピーの終了を確認します。

下記の状態になれば、コピーは終了です。

ステータスランプ：点滅→点灯
コピーランプ：消灯　　フィニッシュランプ：点灯



6 本製品の電源を切ります。



7 モードを元に戻します。

【モードを設定しよう】(20ページ)をご覧ください。

Memo

付録

困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・６４

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

接続前の作業 ・・・・・・・・・・・・・・・７３

本製品を接続する前にやらなければならない作業について説明します。

ファイルシステムについて ・・・・・・・・・・・・・・・７８

ファイルシステムについて説明します。

ブザーについて ・・・・・・・・・・・・・・・８０

本製品のブザーが鳴ったときの原因と対処を説明します。

ASPIFORM ・・・・・・・・・・・・・・・８４

ASPIFORMについて説明します。

LAN-iCNと接続する ・・・・・・・・・・・・・・・８６

本製品をLAN-iCNに接続してお使いになる場合について説明します。

用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・８８

本書内の用語を説明します。

別売オプション品 ・・・・・・・・・・・・・・・８９

弊社の別売オプション品について説明します。

ハードウェア仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・９０

本製品の仕様を説明します。

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

本製品をIEEE 1394ポートに接続しても認識しない	６５
本製品からOSを起動できない	
スタンバイから戻ると、ハードディスクが認識されていない	
本製品の電源ランプが点灯しない	６６

Windows XP/2000でのトラブル

フォーマットするとエラー画面が表示される	６７
IEEE 1394ポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される	
ディスクの管理でフォーマット時に、パーティションのサイズをマウスで設定できない	

Windows Me/98でのトラブル

・本製品を接続すると、パソコンが止まる ・本製品を接続してパソコンを起動するとSafeモードになる	６８
IEEE 1394ポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される	
PC98-NXシリーズをお使いで「デバイスマネージャ」タブが表示されない	
ASPIFORMで「対象ドライブがみつかりません」と表示される	６９
ASPIFORMで「使用可能領域が不足しています」と表示される	
エラーが表示され、スキャンディスクをかけられない	

Mac OS 8/9でのトラブル

スリープ復帰時にエラーが表示される	７０

Mac OS Xでのトラブル

「Disk First Aid」で意味不明な文字が表示されたり、エラーが発生する	７０

共通のトラブル

本製品をIEEE 1394ポートに接続しても認識しない

原因１ **「更新」されていない(Windowsのみ)**

［マイコンピュータ］の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因２ **接続するIEEE 1394ポートによっては認識されない**

接続するIEEE 1394ポートを変えてください。

原因３ **本製品の接続や電源が正常ではない**

【接続しよう】(22ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

原因４ **機能拡張が競合している(Mac OSのみ)**

【機能拡張の競合解消方法】(71ページ)をご覧ください。

本製品からOSを起動できない

原因 **本製品からのOSの起動には対応していない**

本製品からOSを起動することはできません。

スタンバイから戻ると、ハードディスクが認識されていない

原因 **スタンバイから復帰する際に認識されなくなることがある**

本製品を一度取り外し、また接続してください。

本製品の電源ランプが点灯しない

原因１ **電源スイッチがONになっていない**

本製品の電源スイッチをONにしてください。

原因２ **ACアダプタが電源コンセントに接続されていない**

ACアダプタを電源コンセントに接続してください。

原因３ **本製品が故障している可能性がある**

弊社修理係にご依頼ください。（92ページ参照）

Windows XP/2000でのトラブル

フォーマットするとエラー画面が表示される

原因 **フォーマットが完了する前に終了している**

「ディスクの管理」でパーティションの作成とフォーマットをした場合、以下のメッセージが表示され、フォーマットが完了せずに「パーティションの作成ウィザード」が完了する場合があります。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。
要求を完了できません。」

この画面が表示された状態では、フォーマットはされていませんが、パーティションの作成は終わっています。

この画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。「ディスクの管理」から、作成されたパーティションを右クリックし、表示された［フォーマット］をクリックすることにより、作業が完了します。

IEEE 1394ポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される

原因 **取り外しの正しい手順を行っていない**

【本製品を取り外す】(46ページ)をご覧ください。

ディスクの管理でフォーマット時に、パーティションのサイズをマウスで設定できない

原因 **容量によっては、マウスで設定できない**

キーボードによる入力で設定してください。

Windows Me/98でのトラブル

・本製品を接続すると、パソコンが止まる
・本製品を接続してパソコンを起動するとSafeモードになる

原因 **本製品の接続や電源が正常ではない**

【接続しよう】(22ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

IEEE 1394ポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される

原因 **取り外しの正しい手順を行っていない**

【本製品を取り外す】(46ページ)をご覧ください。

PC98-NXシリーズをお使いで「デバイスマネージャ」タブが表示されない

原因 **［デバイスマネージャ］タブが表示されない設定になっている**

1 **「Cyber Trio-NXセットアップ」を起動します。**

［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］(［NXユーティリティ］,［NXの設定］)→［Cyber Trio-NXセットアップ］を起動します。

2 **「アドバンスドモード」にします。**

「アドバンスドモード」にチェックし、［OK］ボタンをクリックします。

3 **Windowsを再起動します。**

自動で再起動されます。

ASPIFORMで「対象ドライブがみつかりません」と表示される

原因 **本製品の接続や電源が正常ではない**

1 ASPIFORMを終了します。

［ESC］キーを数回押し、ASPIFORMを終了します。
ウィンドウが残る場合は、  ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

2 接続と電源を確認します。

【接続しよう】(22ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

ASPIFORMで「使用可能領域が不足しています」と表示される

原因 **すでにパーティションは作成されている**

フォーマットの必要はありません。そのままお使いください。
パーティションを作り直したい場合は、本製品内の必要なデータをバックアップした後で、【フォーマット・初期化しよう】(24ページ)の手順を行ってください。

エラーが表示され、スキャンディスクをかけられない

原因 **Windows 98 SEで、137Gバイト以上のパーティションにスキャンディスクをかけている**

Windows 98 SEでは、137Gバイト以上のパーティションにスキャンディスクをかけることができません。
【フォーマット・初期化しよう】(24ページ)の作業内で、パーティションの容量を137Gバイト以下に設定してください。

Mac OS 8/9でのトラブル

スリープ復帰時にエラーが表示される

原因 **環境によっては、エラーが表示されるが問題なく使用できる**

環境によっては、下記のようなエラーが数秒表示されますが、問題なくお使いいただけます。

「FireWireディスクの応答がありません。問題を解決しないとディスクの内容が壊れる可能性があります。」

Mac OS Xでのトラブル

「Disk First Aid」で意味不明な文字が表示されたり、エラーが発生する

原因 **ボリューム（パーティション）の名前に日本語が使われている**

意味不明な文字が表示されるだけの場合は、動作に問題はありません。エラーが表示される場合は、半角英数字のみを使って名前を付けてください。

スリープ復帰時にエラーが表示される

原因 **環境によっては、エラーが表示されるが問題なく使用できる**

環境によっては、下記のようなエラーが数秒表示されますが、問題なくお使いいただけます。

「FireWireディスクの応答がありません。問題を解決しないとディスクの内容が壊れる可能性があります。」

機能拡張の競合解消方法

これはMac OS 9.1での手順です。
他のMac OSでは手順や表示が多少異なる場合があります。

1 「機能拡張マネージャ」を開きます。

［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

2 ［セット］を［Mac OS xx 基本］に設定します。

※ xxにはMac OSのバージョンが入ります。



3 ［セットの複製］ボタンをクリックします。

⇒［セット］が［Mac OS xx 基本のコピー］になります。

4 ［B'sCrew FW Driver］に［×］を付けます。

5 ［再起動］ボタンをクリックします。

⇒Mac OSが再起動します。



6 本製品の動作を確認します。

本製品のアイコンが画面に表示されることを確認します。
また、他の周辺機器やソフトウェアが動作することもご確認ください。
動作しない場合は、それぞれ再インストールしてください。

接続前の作業

本製品を接続する前にやらなければならない作業について説明します。

作業	ページ
Windows 98 SEでの作業	73
Mac OS 8/9での作業	75

参考

Windows 98 SE, Mac OS 8/9以外のOSをお使いの方へ

本作業は必要ありません。

Windows 98 SEでの作業

注意

この作業を行うと元に戻せません

あらかじめご了承ください。

参考

本作業について

本作業は、Windows 98 SEで本製品を使うために必要です。

i･CONNECT対応インターフェイスで本製品をお使いの場合は、本作業は必要ありません。

PCカードなどをお使いの方へ

本作業を行うと、PCカードなどの取り外しの際もアイコンや表記が変わります。

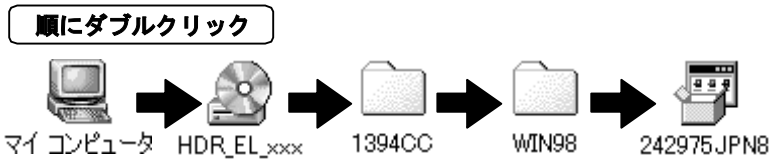
1 「HDR-ELシリーズサポートソフト」を挿入します。

「HDR-ELシリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

2 アップデートします。

［マイコンピュータ］→［HDR_EL_xxx］→［1394CC］→［WIN98］→［242975JPN8］の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字（バージョン）が入ります。

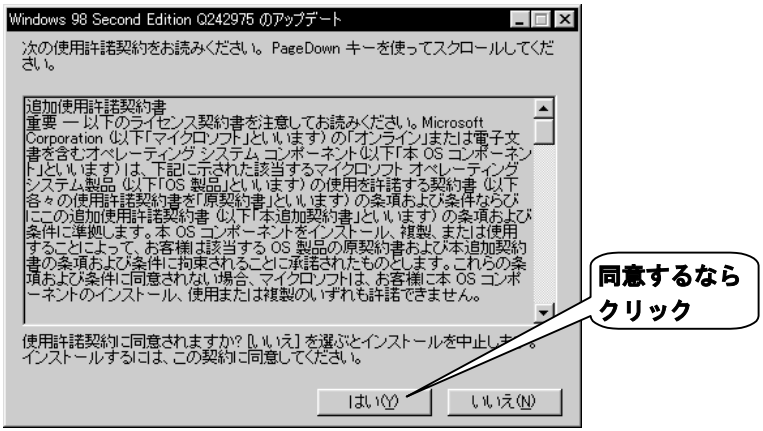


3 ［はい］ボタンをクリックします。



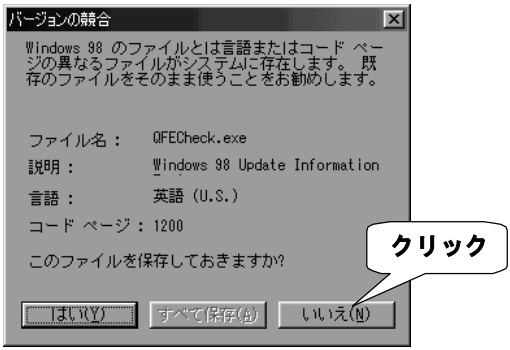
4 内容に同意するなら、［はい］ボタンをクリックします。

使用許諾契約書の内容に同意する場合のみ、［はい］ボタンをクリックします。



5 この画面が表示される場合があります。

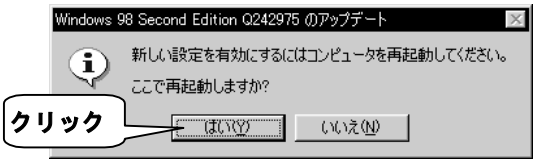
表示された場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。



6 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。

これで、接続前の作業は完了です。



Mac OS 8/9での作業

参考

本作業について

本作業は、Mac OS 8/9で本製品を使うために必要です。

i･CONNECT対応インターフェイスで本製品をお使いの場合は、本作業は必要ありません。

1 パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動します。

2 「HDR-ELシリーズサポートソフト」を挿入します。

「HDR-ELシリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

⇒自動で「HDR-ELシリーズサポートソフト」の中が表示されます。

参考

自動で開かなかった場合は･･･

デスクトップ上にあるCD-ROMのアイコン(HDR_EL_xxx：xxxには数字（バージョン）が入ります。)をダブルクリックしてください。

3 ［B'sCrew FW Installer］をダブルクリックします。

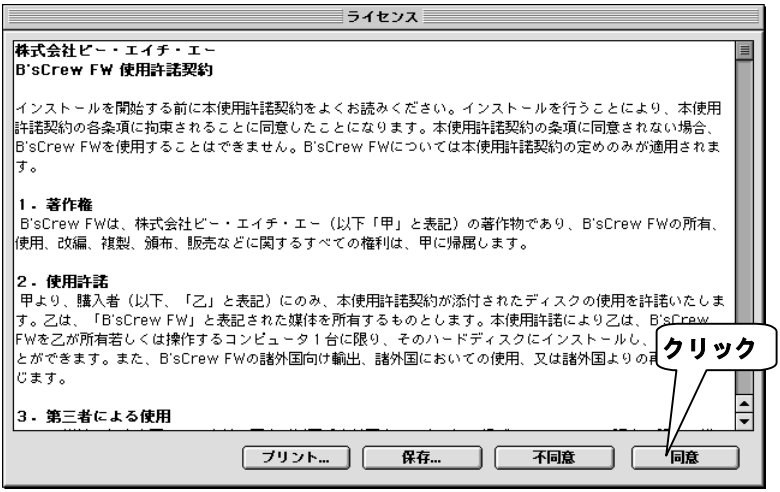
［1394CC］→［B'sCrew FW Installer］の順にダブルクリックします。

順にダブルクリック



4 使用許諾契約を読み、同意するかどうかを決定します。

内容に同意するなら［同意します］ボタンをクリックします。
このインストールをするには、同意する必要があります。



5 ［続ける］ボタンをクリックします。

6 ［インストール］ボタンをクリックします。

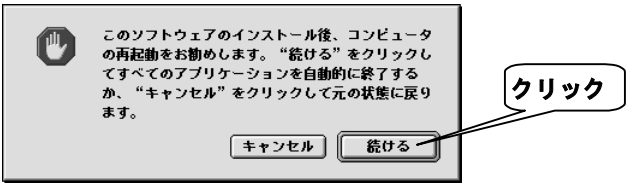


インストールの場所を変えたい場合は

［インストールの場所］を設定してください。
通常、変える必要はありません。

7 ［続ける］ボタンをクリックします。

⇒「B'sCrew FW」がインストールされます。



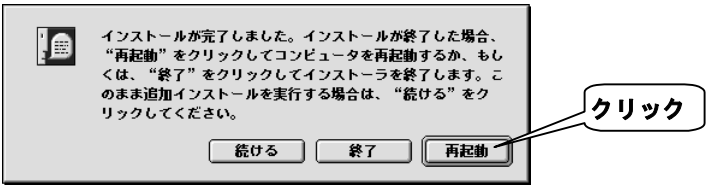
8 再起動します。

①「HDR-ELシリーズサポートソフト」を取り出します。

②［再起動］ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。

これで、接続前の作業は完了です。



ファイルシステムについて

ハードディスクを複数のOSで併用して使う場合は、併用するOSのすべてで認識できるファイルシステムにてパーティションを作成しなくてはいけません。
ここでは、各OSがどのファイルシステムに対応しているかについて説明します。

ファイルシステム

ファイルの管理方式のこと。
パーティションは、何らかのファイルシステムを元に作成される。

OS毎の使用できるファイルシステム

OSによって、使用できる（作成できる）ファイルシステムが異なります。
複数のOSでハードディスクを併用する際のパーティションの作成時には、下の表を参照して併用できるファイルシステムを確認してください。

例えば、Windows MeとWindows XPでは、「FAT32」「FAT16(FAT)」のファイルシステムでハードディスクにパーティションを作成（フォーマット）すれば併用できます。（「NTFS」でパーティションを作成すると併用できなくなります。）

使用OS(バージョン)	ファイルシステム				
	NTFS	FAT32	FAT16 (FAT)	HFS+	HFS
Windows XP	○	○※1	○※2	×	×
Windows 2000	○	○※1	○※2	×	×
Windows Me	×	○	○	×	×
Windows 98	×	○	○	×	×
Mac OS 8/9	×	×	○	○	○
Mac OS X	×	×	○	○	○

○：使用可　×：使用不可

※1 作成できる容量は「32Gバイト」までですが、認識できる容量は「2Tバイト」までであることにご注意ください。
※2 他のOSと併用する場合には、１パーティションのサイズを「2,047Mバイト」以下に設定する必要があります。

ファイルシステムとその特徴

ファイルシステム	特徴
NTFS	１パーティションあたりの最大容量は、「約408,000,000Tバイト」です。 ただし、Windows Me/98などではアクセスできません。
FAT32	**Windows XP/2000** １パーティションあたりの作成できる最大容量は、「約32Gバイト」です。 ただし、Windows Me/98でフォーマットされたFAT32のパーティションを「約2Tバイト」まで認識できます。 **Windows Me/98** １パーティションあたりの最大容量は「約2Tバイト」です。
FAT16 (FAT)	**Windows XP/2000** １パーティションあたりの最大容量は、「約4Gバイト」です。 ただし、Windows 98などで使用する場合は、「2,047Mバイト」までにする必要があります。 **Windows Me/98** １パーティションあたりの最大容量は、「2,047Mバイト」です。 **Mac OS 8/9, Mac OS X** １パーティションあたりの最大容量は、「2,047Mバイト」です。 ※ 弊社では、Mac OS上での使用をおすすめしません。
HFS+	１パーティションあたりの最大容量は、「約2Tバイト」です。
HFS	１パーティションあたりの最大容量は、「約2Tバイト」です。

参考

容量表記について

1T(テラ)バイト ＝ 1,000Gバイト
1G(ギガ)バイト ＝ 1,000Mバイト
1M(メガ)バイト ＝ 1,000,000バイト

ブザーについて

本製品は、問題が発生するとピーピーとブザーが鳴るようになっています。
ブザーが鳴った際は、下記のようにしてください。

ピピピッと３回鳴って止まった場合

モード、ステータス、フィニッシュ＆コピーの順にランプが点滅します。
このブザーが鳴った場合は、本製品は正常に動作しています。
そのまま本製品をお使いください。

ブザーをすぐに止めないでください

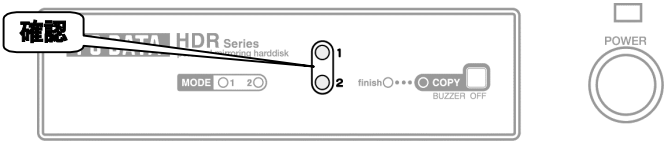
ブザーが鳴っている間に、ランプなどで状況を確認してから的確な対処をする必要があります。

コピーボタンを押し続けている場合

ブザーが鳴っている間は、コピーボタンを放しても大丈夫です。

● ステータスランプを確認します。

ステータスランプの状態によって、問題・対処を判断します。



操作	
ステータスランプが消灯	次ページ
ステータスランプが点滅 ▶ HDDユニットの取り替えをした場合 ▶ HDDユニットの取り替えをしていない場合	82ページ
ステータスランプが両方点灯 ▶ モードを切り替えた場合 ▶ モードを切り替えていない場合	83ページ

モードランプが両方点滅している

未使用のモードを設定したか、本製品がハードディスクとして動作しない状態です。
モードが正常に設定されている場合は、弊社サポートセンター（91ページ）にお問い合わせください。

ステータスランプが消灯

消灯しているステータスランプに対応したHDDユニットに、問題があります。



HDDユニットの接続・新しいHDDユニットへの取り替え

詳しくは、【新しいHDDユニットに取り替える】(48,58ページ)をご覧ください。

1 コピーボタンを押さずに、本製品の電源を切ります。

2 HDDユニットの容量・接続を確認します。



HDDユニットの容量は合わせてください

容量が合っていないと、本製品をお使いいただけない場合があります。

※ HDR-ELxxには、HDR-OPxx相当のHDDユニットが搭載されています。

3 本製品の電源を入れます。



また同じ状態になった場合

そのHDDユニットは故障しています。

できるだけ早く新しいHDDユニットに取り替えてください。

本製品をこのまま起動したい場合

コピーボタンを押し、ブザーを止めます。コピーボタンを押し続けている場合は、一度放してからまた押し続けてください。

※ブザーを止めても、下記の場合は、使うことができません。

・両方のステータスランプが消灯している

モードランプが両方点滅している

未使用のモードを設定したか、本製品がハードディスクとして動作しない状態です。

モードが正常に設定されている場合は、弊社サポートセンター（91ページ）にお問い合わせください。

ステータスランプが点滅

点滅しているステータスランプに対応したHDDユニットが、前回起動したときと異なります。



HDDユニットの接続

詳しくは、【新しいHDDユニットに取り替える】(48,58ページ)をご覧ください。

HDDユニットの取り替えをした場合

ミラーモード

同期作業が必要です。詳しくは、【新しいHDDユニットに取り替える】の手順6 (49ページ)以降をご覧ください。

シングルドライブモード

HDDユニット１を取り替えた場合は、バックアップの状態に戻す必要があります。【バックアップの状態に戻す】(60ページ)をご覧ください。

HDDユニット２を取り替えた場合は、コピーボタンを押し、ブザーを止めてください。

HDDユニットの取り替えをしていない場合

接続が悪く、新しいHDDユニットとして認識された可能性があります。

1 コピーボタンを押さずに、本製品の電源を切ります。

2 HDDユニットの接続を確認します。

3 本製品の電源を入れます。

4 後は、モードによって作業が異なります。

ミラーモード

同期作業が必要です。詳しくは、【新しいHDDユニットに取り替える】の手順6 (49ページ)以降をご覧ください。

シングルドライブモード

コピーボタンを押し、ブザーを止めてください。

ステータスランプが両方点灯



HDDユニットの接続

詳しくは、【新しいHDDユニットに取り替える】(48,58ページ)をご覧ください。

モードを切り替えた場合

ミラーモード⇔シングルドライブモードで切り替えた

ミラーモードからシングルドライブモード、およびシングルドライブモードからミラーモードに切り替えた場合は、ブザーが鳴るようになっています。
コピーボタンを押し、ブザーを止めてください。

未使用のモード番号に設定した

本製品はそのモード番号を使いません。
コピーボタンを押さずに、本製品の電源を切ってください。
それから、モードスイッチを正しく設定してください。(20ページ)



モードランプが両方点滅している

未使用のモードを設定したか、本製品がハードディスクとして動作しない状態です。
モードが正常に設定されている場合は、弊社サポートセンター(91ページ)にお問い合わせください。

モードを切り替えていない場合

HDR-ELシリーズ本体自体に問題がある場合があります。
念のため、HDDユニットの接続を確認した後、もう一度本製品の電源を入れてください。
また同じ状態になった場合は、HDR-ELシリーズ本体は故障しています。
弊社サポートセンターにお問い合わせください。(91ページ)



モードランプが両方点滅している

未使用のモードを設定したか、本製品がハードディスクとして動作しない状態です。
モードが正常に設定されている場合は、弊社サポートセンター(91ページ)にお問い合わせください。

ASPIFORM

ASPIFORMについて説明します。

ASPIFORMとは？

ASPIFORMはWindows Me/98用フォーマットソフトです。
本製品をフォーマットすることができます。

パーティションコンバートツールを使わないでください

ASPIFORMで作成したFAT16のパーティションをFAT16→FAT32コンバートツール(Windows Me/98のFAT32コンバータなど)を使ってFAT32に変更しないでください。

FAT32のパーティションをお使いになりたい場合は、ASPIFORMを使用して、FAT16のパーティションを削除し、FAT32でパーティションを作成しなおしてください。

（ただし、削除したパーティションのデータはすべて失われます。
削除する前に必要なデータをバックアップすることをおすすめします。）

本製品以外の外付ハードディスクを、できるだけ取り外してください

誤ってフォーマットしてしまわないために、できるだけ取り外してください。

パーティションは、最大５つまで作成できます

ASPIFORMで作成可能なパーティション数（区画領域数）は、最大５つです。

マウスでの操作はできません

矢印キー（[↓][↑][→][←]キー）にて選択（カーソル移動）してください。

ASPIFORMの処理内容について

I ディスクタイプの確認

対象のディスクが、どのフォーマット形式に従って
フォーマットされているかを判別します。

E イジェクト

本製品では使用できません。

A イジェクト許可

本製品では使用できません。

P イジェクト禁止

本製品では使用できません。

F FDISKフォーマット

パーティション状態の表示

パーティションの状態を表示します。

パーティションのフォーマット

パーティションを選択後、論理フォーマット
します。「パーティションの作成」後には
必要ありません。

パーティションの作成

パーティションを作成し、論理フォーマット
する。（必ずこの作業をしてください）

パーティションの削除

末尾のパーティションを削除します。

ディスク初期化

本製品では使用しないでください。
「ディスクデータ消去」の「完全データ
消去」で初期化の代わりになります。
詳しくは、下をご覧ください。

C ディスクデータ消去

簡易データ消去

データ管理情報部分のみを消去します。

完全データ消去

ディスク上のすべての情報を消去します。
この作業には大変時間がかかります。
(80Gバイトで約1時間30分)

S 設定変更

本製品では使用できません。

LAN-iCNと接続する

本製品をLAN-iCNに接続してお使いになる場合について説明します。

参考

LAN-iCN

i･CONNECT搭載ストレージをLAN経由で使うためのi･CONNECT対応インターフェイス。

動作環境

LAN-iCNの動作環境となります。
LAN-iCNの取扱説明書をご覧ください。

ただし、サポート機種およびサポートOSについては、本製品のものとなります。

注意

137Gバイト以上の本製品を接続する場合

LAN-iCNのファームウェアをVer.1.10以降にアップデートしてください。
ファームウェアのバージョンについては、LAN-iCN付属のコンパクトフラッシュに貼られているシールに記載されています。
方法については、LAN-iCNの取扱説明書をご覧ください。

使えるようにする

1 使うモードを決め、設定します。

本書の【使うモードを決めよう】(18ページ)と【モードを設定しよう】(20ページ)をご覧ください。

参考

モードの設定は、本製品側で行います

モード設定は、LAN-iCN側から操作して行うことはできません。
本製品を操作して行ってください。

2 LAN-iCNと接続します。

LAN-iCN取扱説明書をご覧になり、本製品とLAN-iCNを接続します。

注意

LAN-iCNの電源は、まだ入れないでください

手順4で本製品の起動を確認してから、手順5でLAN-iCNの電源を入れてください。

3 本製品の電源を入れます。

4 本製品のフィニッシュランプが消灯するまで待ちます。

本製品が状態チェックを行います。消灯するまでお待ちください。
（コピーランプ、フィニッシュランプ点滅）

ブザーが鳴ります

ピーピーと長く鳴る：本製品の構成に変更があります。
【ブザーについて】(80ページ)をご覧ください。
ピピピッと短く鳴る：本製品は、正常に動作することができます。

コピーランプとフィニッシュランプの点滅中はご注意ください

この間にコピーボタンを押し続けると、電源を入れるときからコピーボタンを押し続けた状態と同じになります。ご注意ください。

本製品に電源を入れてすぐには認識されません

電源を入れると、コピーランプとフィニッシュランプが点滅します。
それが終わり、コピーランプとフィニッシュランプが消灯すると、本製品はハードディスクとしてお使いいただけます。

5 LAN-iCNの電源を入れます。

6 LAN-iCNの設定をします。

LAN-iCN取扱説明書をご覧になり、LAN-iCNの設定をします。

本製品のフォーマットについて

LAN-iCN取扱説明書に記載されている方法で行ってください。
本製品内のデータは全て消去されます。

7 各OSに合わせて、使えるように設定します。

LAN-iCN取扱説明書をご覧になり、使えるように設定します。
⇒これで、本製品をLAN-iCNに接続して使えるようになりました。

本製品の電源を切る

① LAN-iCNの電源を切ります。
② LAN-iCNのランプが消えたことを確認します。
③ 本製品の電源を切ります。
ただし、本製品が同期やバックアップの作業を行っている場合は、作業が終わるまで本製品の電源を切らないでください。
※ パソコンやLAN-iCNの電源は、切っても問題ありません。

用語解説

本書内の用語を説明します。

同期

HDDユニットの内容をもう一つのHDDユニットと同じ内容にすること。
また、新しいHDDユニットを自動的にもう一つのHDDユニットと同じ内容にする機能。
この機能が作動しているとき、同期中のHDDユニットのステータスランプは点滅する。

フォーマット

ハードディスクを使えるようにするために必要な作業。
他に、イニシャライズや初期化などと呼ぶこともある。

復旧

シングルドライブモードの１つで、バックアップした状態に戻すときに使用する。

ミラーリング

同じデータを複数台のディスクドライブに書き込む。
あるディスクが故障しても、正常なディスクを使って処理を続行できる信頼性の高いシステムを構築するための技術。

別売オプション品

弊社 別売オプション品をご案内します。

HDDユニット

型番	説明
HDR-OP160	専用ケース入りオプション用ハードディスク 160Gバイト
HDR-OP80	〃 80Gバイト
HDR-OP40	〃 40Gバイト



取り付けるHDDユニットの容量は合わせてください

容量が合っていないと、本製品をお使いいただけない場合があります。

※ HDR-ELxxには、HDR-OPxx相当のHDDユニットが搭載されています。

ハードウェア仕様

本製品の仕様を説明します。

●HDR-ELシリーズ

型式番号	HDR-EL80	HDR-EL160	HDR-EL250
データ容量※1	約80Gバイト×２	約160Gバイト×２	約250Gバイト×２
セクタサイズ	512バイト		
外形寸法	160(H) × 197(W) × 310(D) mm		
インターフェイス仕様	IEEE 1394、LAN-iCN用コネクタ		
電源仕様	AC 100V±10% 50/60Hz		
消費電力	約22W		
使用温度範囲	+5℃～+35℃(パソコンの動作する温度範囲であること)		
使用湿度範囲	20～80%(結露なきこと)		
本体重量	約5.0kg		

※1 本容量は、アンフォーマット時1Mバイト＝1,000,000バイト、
1Gバイト＝1,000Mバイトで計算したときの値を示しています。
フォーマット後は若干容量が減少します。

●IEEE 1394ケーブル

名称	IEEE 1394ケーブル(6-4ピン)
インターフェイス仕様	IEEE 1394※2
対応速度	400Mbps
ケーブル長	約100cm

※2 物理層は、P1394aに準拠。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

【困った時には】(64ページ)で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/　製品Q&A, Newsなど

また、添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/　弊社サポートライブラリ

2 それでも解決できない場合は・・・

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　　アイ・オー・データ第2ビル
　　株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　金沢…076-260-3661　東京…03-3254-1085
　　※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/



お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
   （画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
・弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルナンバー（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

HDR-ELシリーズ 取扱説明書
2002.12.04 116143-02
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。